

## 令和5年度臨時・第3回研究WG及び各小WG活動報告

## はじめに

倫理委員会では、2023年9月29日(金)に臨時研究WG(全体)(会場出席者10名、Web参加7名)を、かでの2・7の1010会議室にて、2023年12月13日(水)に第3回研究WG(全体)(会場出席者18名、Web参加4名)を、かでの2・7の730研修室にて開催いたしました。また、各小WG活動は過去班が8/23(水)・10/20(金)に、現在班が8/30(水)・10/25(水)に、未来班が7/10(月)・10/16(月)に活動しましたので報告いたします。

## 1. 令和5年度臨時研究WG(全体)

## (1) 富澤委員長挨拶・黙祷

冒頭に8月に御逝去された今井相談役に哀悼の意を表するため出席者全員で黙祷を捧げました。また、富澤委員長から活発な議論がなされるよう開催の挨拶が行われました。

## (2) 技術士全国大会北海道・札幌(第1分科会)

第1分科会(技術者倫理)のテーマを幹事会で検討し、その結果を出席委員で討論した結果、テーマは「技術者よ、大志を抱け～過去から現在そして未来へ～」に決定いたしました。

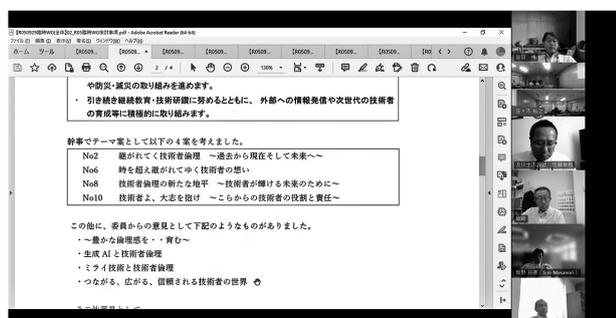


図-1 臨時研究WG(全体) 会議状況

また、内容は講演3編とし、講演1が日本技術士会総括本部倫理委員会の塩原亮一委員長、講演2が北海道大学大学院文学研究科蔵田伸雄教授、講演3

が我々北海道本部倫理委員会の研究活動講演とすることとなりました。

## (3) 第49回技術士全国大会 技術者倫理情報連絡会

2023年11月17日に開催される技術者倫理情報連絡会に富澤委員長・佐々木幹事長・中埜渡幹事が会場参加、山本幹事・佐藤幹事がWebで参加することになりました。また、佐々木幹事長より事前に送付する北海道本部倫理委員会の活動報告書の内容についての説明がありました。

## (4) 第14回技術者倫理フォーラム

2024年7月5日(金)を開催予定として、基調講演を小樽商科大学の泉貴嗣准教授に依頼し、WG活動報告は技術士全国大会の第1分科会のプレ発表とすることに決定いたしました。

## (5) 小WGの活動内容について

来年の技術士全国大会・第1分科会及び技術者倫理フォーラムでの発表に向け、過去・現在・未来班の発表内容が統一的な方針のもとに作成すること及び各小WGが横断的連携を図るとともに、全委員が発表内容に関して共通認識を持って1年間活動していく必要があることについて説明がありました。

## 2. 令和5年度第3回研究WG(全体)

## (1) 技術士全国大会北海道・札幌(第1分科会(技術者倫理)・技術者倫理情報連絡会)

第1分科会(技術者倫理)の詳細な実施内容について討議を行い、タイムテーブル案・予算案・会場案を決定いたしました。タイムテーブル案は下記のようになっています。

## 講演者3名(講演45分×3)

- |                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| ① 09:30～09:45 (15分) | 開会挨拶・北海道本部倫理委員会活動紹介・テーマ概要説明 |
| ② 09:45～10:30 (45分) | 講演1：北海道大学大学院文学研究科 蔵田伸雄教授    |
| ③ 10:30～11:15 (45分) | 講演2：日本技術士会総括本部倫理委員会 塩原亮一委員長 |
| ④ 11:15～11:25 (10分) | 休憩                          |
| ⑤ 11:25～12:10 (45分) | 講演3：北海道本部倫理委員会 研究活動講演       |
| ⑥ 12:10～12:15 (5分)  | 閉会挨拶                        |

また、統括本部倫理委員会が主催で実施される技術者倫理情報連絡会の開催場所や時間・実施内容についても討議を行いました。

(2) 技術士全国大会愛知・中部参加報告

2023年11月17日に開催された技術者倫理情報連絡会に富澤委員長・佐々木幹事長・中埜渡幹事が参加しました。佐々木幹事長より議事録等が配布され、当日の様子について報告がありました。また、翌日の第2分科会に佐々木幹事長・中埜渡幹事が参加し分科会運営状況についても報告がありました。



写真-1 技術者倫理情報連絡会 (2023.11.17)

(3) 小WG(過去班・現在班・未来班)活動報告

①過去班

岡田委員発表の「広井勇に見る近代土木技術者の倫理観とその系譜」と斎藤委員発表の「倫理と宗教2023」の内容について概略の説明がありました。

- 過去班
- 大きな技術革新(イノベーション)があると倫理観が変わる？
  - 明治期の土木技術者(広井勇等)は志向倫理的行動により優れた業績を残す
  - なぜ、日本の産業革命期である明治期にこのような優れた倫理観を持った技術者が現れたのか
  - 宗教観、キリスト教によるものか？それとも日本古来の武士道の流れによるものか？
  - 現在の技術者と過去(明治期)の技術者で倫理観は異なるのだろうか？
  - 倫理観が変化したら、何が変わったのか？理由は？

- 過去班
- 宗教≒倫理 として宗教を(技術者)倫理に置き換えてみると
- 人は富と権力を持つと性格が変わる
  - 技術者倫理は信じる切力(power)が必要
  - 公衆(技術者?)は孤独を望まない  
すべての技術者倫理は公衆の安心と安全を望む。
  - 倫理綱領的に  
「心と力を尽くして善い行動を行い、公衆のために善行しなさい。」
- 現在の技術者倫理的な考えになるのではないか・・・

図-2 過去班の活動状況説明資料

②未来班

佐藤幹事・小川幹事及び高橋委員・永井委員等の話題提供内容及びそれらに関する討議内容について説明がありました。

- 未来班
- ① AI倫理の深度化
  - ② 若手技術者・若い世代の倫理教育
  - ③ ダイバシティ(多様性)と技術者倫理
  - ④ 技術者倫理を取り巻く環境変化→変化というよりも多様化・選択肢の増加？！
  - ⑤ 志向倫理は未来の倫理か？
  - ⑥ 新しい技術とは既存の技術は、オーバーラップしながら進展している。
  - ⑦ 志向倫理々やりがい倫理
  - ⑧ 「公衆の安全及び健康、福利を最優先」とする根の部分は未来も変わらないが、それを遂行するための働く環境は変化？・多様化している。
  - ⑨ 未来の倫理とは技術の変化・多様化と環境の変化・多様化の中でいかに「公衆の安全及び健康、福利を最優先」を実現・実装・実効していくことか？
  - ⑩ 挑戦する技術者というテーマが全国大会にあるとしたら振り切った取り組みでもいいのでは？
  - ⑪ 技術者の仕事を通じて個人が幸せになっていくことも倫理要綱に加えていいのでは？⇒技術者の幸福の実現って倫理要綱に必要な
  - ⑫ ものづくりの楽しさを若い世代にも伝えていきたい
  - ⑬ 志向倫理々徳倫理
  - ⑭ 大谷選手がごみを拾うのは運を高めるため、技術者が仕事で
  - (ア) 「公衆の安全及び健康、福利を最優先」を高めるのも運を高め、徳を積む手段？
  - ⑮ 志向倫理の教える際の事例とは？「CVCCエンジンの開発「子供たちに青い空を・・・」、「女川原発の高さの(海拔14.8m)の経緯」、「基場安全から配慮安全」
  - ⑯ 実は身近にも志向倫理的な設計配慮ってあるのでは？

**まとめ**

- 技術者の不正は一般の人に見えにくく、重大な損失につながる可能性がある。技術を正しく活用して責任をもって社会貢献するために、技術者倫理は必要不可欠
- 日常的に倫理的な行動につながる考え方や環境をそなえることが大切
- 時代の変化に応じて必要となる倫理観について考え、みんなをより幸せにする、ミライにつながる技術者倫理を！

図-3 未来班の活動状況説明資料

③現在班

現在班では討議するテーマを決めている段階でここまでの問題点をまとめると、a) 現在班の議論すべき期間が高度成長期後～現在で妥当であろうか、b) 【技術者が保持すべき倫理観】と【企業倫理】のずれをテーマとしたが、他に良い着眼点はないか、c) 企業倫理だけが現代技術者の葛藤の原因としてよいか、といった内容で討議が進められていました。

- 現在班
- 現在の技術者が保持すべき倫理観とし防災・環境保全、不正防止や作業ロス(契約・事故)への対峙検討
  - 高度成長期に入った頃の技術者の倫理観についての研究
  - 当時の技術者は、インフラの建設ラッシュにより「企業のために働いていた」
  - そのためこの時代の「企業倫理」を軸に技術者の倫理観を深掘りする

図-4 現在班の活動状況説明資料

#### ④各班の横断的連携について

富澤委員長より以下のように各班の横断的連携の実施についての説明がありました。

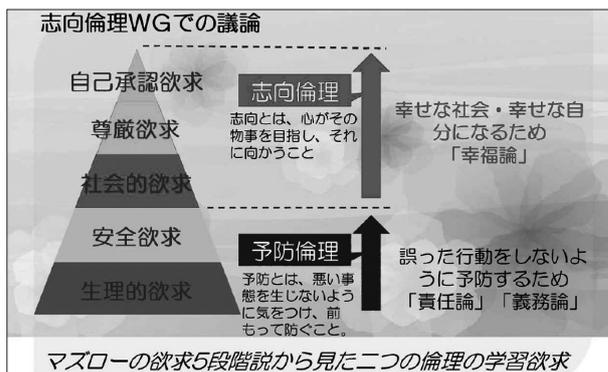
過去・現在・未来班の活動は非常に多岐で熱心な成果を導く内容である。今後の技術者倫理フォーラムなどに向け鋭意活動を継続していきたい。小WG3班は全て連携している認識を持ち、その成果を「倫理委員会委員全員で情報共有する方法」を検討する必要がある。例えば、議事録を都度メールで流しても良いし、クラウド等で示しても良い。また、今後、変更しても良いので「各班活動方向性の表」を埋めて頂きたい。また、他の班会議にも積極的に参加することも良いと考えます。

なお、全員で各小WGの議事を共有することを前提とする委員会でありたいと思います。それが、多くの成功に繋がる方向・価値がありますし、「信義則」内で如何なる議論も切り捨てないで＝正着がなくても、最低限、備忘録とする等の活動が望ましいとも考えています。倫理委員会は継続して活動するため、幹事会はぜひ関連に活動することをお願いします。ただし、本業及び自己の体の優先だけは忘れないようにしましょう。

技術士全国大会北海道・札幌の第1分科会にて北海道本部倫理委員会で講演を行うこととしたので、各小WGが横断的に連携して講演内容を検討していく必要があります。これまでに我々が活動してきた内容の中から「志向倫理」を各小WG3班の横断的なテーマとすることについて今後議論を深めていくこととなりました。

過去班・現在班・未来班の横断的連携			
大テーマ	過去班 ■技術者倫理の変遷と教訓	現在班 ■技術者倫理の現在	未来班 ■技術者倫理の今後の在り方
中テーマ	■本来の共有倫理観 ■文明・文化に倫理あり ■技術者倫理の根本原理	■技術士と公衆の安全 ■技術士と公衆の福利	■新技術に対する倫理 ■新技術に対する企業倫理 ■新技術倫理と文化の関わり
小テーマ	■宗教的倫理観 ■哲学者による倫理 ■古代文明の倫理観 ■先達の倫理学再考 ■土木の先人達における技術者倫理	■企業内技術士のジレンマ ■サービス水準の低下 ■昨今の偽装事件 ■倫理教育（技術者・企業） ■Well-being ■入札制度の改革（公共調達）	■AI倫理とは（AIとは） ■AIを取巻く倫理的課題 ■AI倫理（海外/国内事例） ■SNS倫理を取り巻く話題 ■倫理やモラルの変化

図-5 各班の活動方向性



#### 2. 志向倫理・Well-beingなど

●徳倫理と志向倫理の類似点と違い：

- **共通点**  
徳倫理と志向倫理は、どちらも行動の背後にある動機や目標に焦点を当てている。徳倫理は個人の美徳や品性が行動を形成する要因として強調されるが、志向倫理は個人や組織が目指すべき理想や価値が行動に影響を与えると考える。
- **相違点**  
徳倫理は個人の性格に基づく行動を評価するのに対して、志向倫理はより広い視点で組織や社会全体の目標や価値を考慮する。志向倫理は、個人や組織が設定した目標や理想に対してどれだけ適合するかが重要。
- **総じて、志向倫理は徳倫理の一側面として位置づけられ、個人や組織の理想や価値に基づく行動を追求するアプローチとして理解される。徳倫理が個人の美徳に焦点を当てるのに対して、志向倫理は個人や組織の目指すべき理想に焦点を当てる点が異なる。**

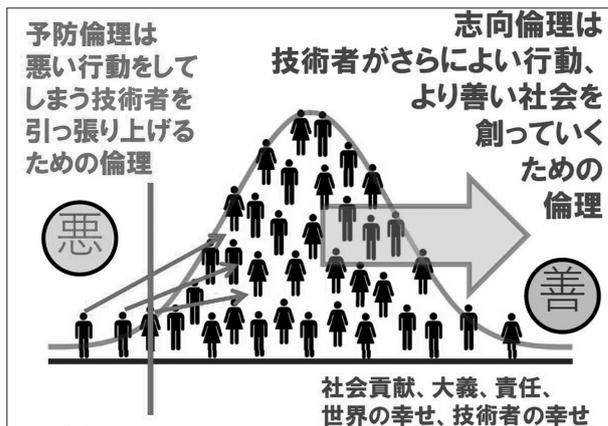


図-6 現在班及び未来班での志向倫理に関する説明資料

#### おわりに

第14回技術者倫理フォーラムを令和6年7月5日(金)に開催予定です。倫理委員会としてはハイブリッド開催することを基本的方針としています。詳細はEPOやホームページを通じてお知らせすることになるかと思っておりますので、そちらをご確認ください。みなさんの参加をお待ちしております。